

# I-O DATA



Hi-Vision Recording HDD  
**HVL4-G** シリーズ

## 設定ガイド&困ったときには



B-MANU200982-03

# もくじ

---

## 接続

本製品を設置する .....	4
<レグザ>の録画機やダビング機としてのみ使用する場合 .....	4
ネットワークに接続する場合 .....	6
Windows からアクセスする .....	9
アクセスするときのご注意 .....	9
Windows Vista®からアクセスする .....	11
Windows XP からアクセスする .....	12

## 設定

設定画面の開き方 .....	15
<レグザ>から開く .....	15
Windows から開く .....	16
かんたん設定 .....	17
詳細設定 .....	19
[セキュリティ設定] .....	20
[システム設定] .....	21
[フォルダ公開] .....	22
[ディスク] .....	24
[システム初期化] .....	25
[ファームウェア更新] .....	26
コンテンツ操作 .....	27
ディスク状況表示 .....	29
共有フォルダを使う .....	31
ネットワーク上での本製品の表示 .....	31
共有フォルダにアクセスする .....	32
USB 機器を接続する .....	35
接続できる USB 機器 .....	35
USB 接続ハードディスクの接続方法 .....	36
USB 接続ハードディスクを接続する .....	36
USB 接続ハードディスクを取り外すには .....	37
内蔵ハードディスクを交換する .....	38

## Q&A

困ったときには .....	40
本製品起動時のトラブル .....	42
セットアップ時のトラブル .....	46
本製品へアクセス時のトラブル .....	52
設定画面のトラブル .....	54
本製品の IP アドレスについて .....	56
ランプやブザーについて .....	57
内蔵や USB 接続ハードディスクについて .....	59
タイムサーバー機能使用時のトラブル .....	60

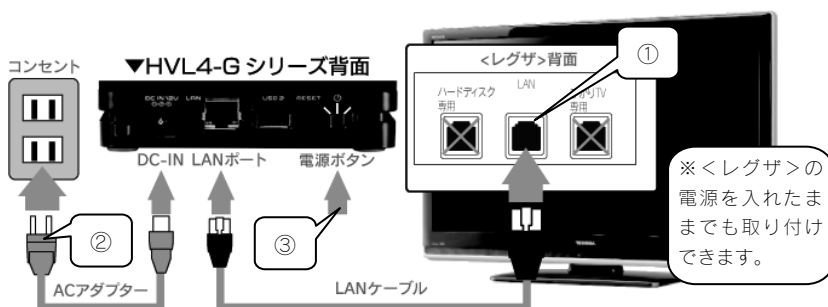
## 仕様

仕様 .....	61
ランプの表示 .....	62
出荷時設定 .....	65
文字制限 .....	66
配信可能なフォーマット .....	66
お問い合わせ .....	67
修理について .....	68

# 本製品を設置する

## <レグザ>の録画機やダビング機としてのみ使用する場合

- 1 <レグザ>に本製品をつなぎます。
  - ①添付のLAN ケーブルで、本製品を<レグザ>背面の[LAN]端子につなぎます。
  - ②本製品のACアダプターをつなぎます。
  - ③本製品の電源を入れます。



- 2 <レグザ>に、本製品を登録します。
  - ①リモコンの「レグザリンク」を押します。
  - ②▲・▼で「レグザリンク設定」を選び、[決定]を押します。
  - ③▲・▼で「LAN ハードディスク設定」を選び、[決定]を押します。
  - ④▲・▼で「機器の登録」を選び、[決定]を押します。

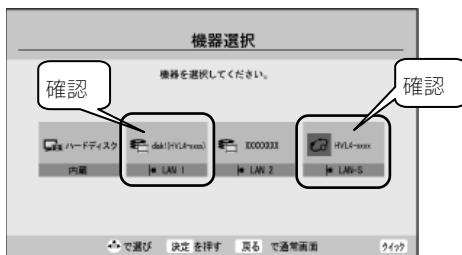
「disk1」のみチェックをつけます。

(他に表示された機器 (contents など) にはチェックをつけないでください。)

登録画面が表示されますので、接続した本製品が表示されていることを確認してください。(登録画面に本製品が表示されていない場合、リモコンの[赤]ボタンを押すと再検索できます。)



- 3 <レグザ>に、本製品が認識されたことを確認します。
- ①リモコンの〔レグザリンク〕を押して、[映像を見る/機器選択]にカーソルを合わせ、[決定]ボタンを押します。
  - ②[機器選択]画面が表示されますので、2で登録した機器と(LAN-S)の[HVL4-xxxx]が表示されていることを確認します。



**注意**

- 本製品の名称について
- 本製品は、出荷時設定として製品ごとに[HVL4-xxxxxx]の名称が設定されています。  
(xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁)
- MAC アドレスは、本製品底面のシールに記載されています。
- ※MAC アドレスは、0~9 の数字と A~F までのアルファベットで構成されています。

次に【設定画面の開き方】（15 ページ）をご覧ください。

# ネットワークに接続する場合

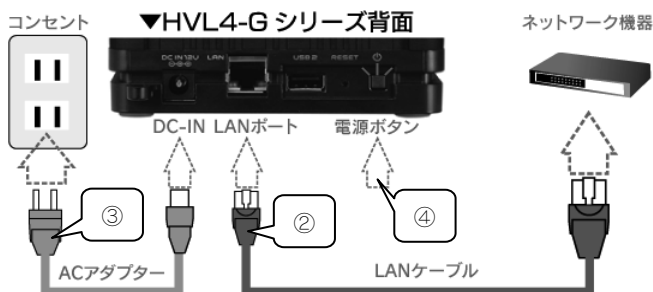
- 1 ネットワーク内のパソコン、ルーター、アクセスポイントなどが正常に動作していることを確認します。
- 2 本製品背面の LAN ポートに添付の LAN ケーブルを接続し、もう一方をルーターやハブなどのネットワーク機器に接続します。

## 注意

必ず LAN ケーブルを先に接続してください。

LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

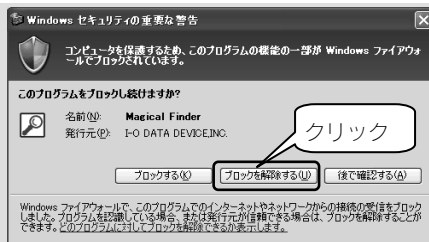
- 3 AC アダプターを本製品背面の[DC ジャック]につなぎ、電源ケーブルを電源コンセントにつなぎます。
- 4 本製品背面の電源ボタンを押します。



- 5 パソコンを起動します。
- 6 弊社ホームページ(<http://www.iodata.jp/lib>)からダウンロードした Magical Finder を起動します。

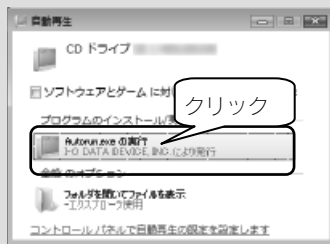
## 注意

右の画面が表示された場合は、  
「ブロックを解除する」をクリックしてください。



**注意**

右の画面が表示された場合は、  
[Autorun.exeの実行] を  
クリックしてください。



接続

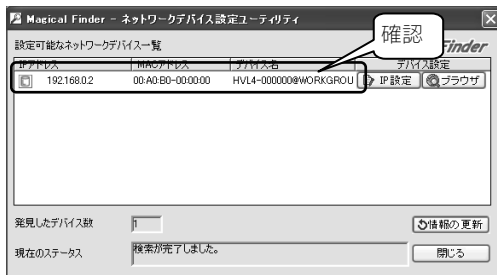
**注意**

右の画面が表示された場合は、  
[ブロックを解除する] を  
クリックしてください。  
その後[ユーザアカウント制御]が  
表示された場合は、「続行する」  
をクリックしてください。



設定

7 自動で本製品が検索されます。



困ったときには

**注意**

本製品が検索されない場合  
●30秒ほど待ってから[情報の更新]ボタンをクリックしてください。  
●【困ったときには】(40ページ)をご覧ください。

仕様

8 本製品の[STATUS]ランプの色を確認してください。  
・STATUSランプが緑色で点灯している場合は、手順12(次ページ)へお進みください。  
・STATUSランプが赤く点滅している場合、[IP設定]ボタンをクリックし、手順9(次ページ)へお進みください。

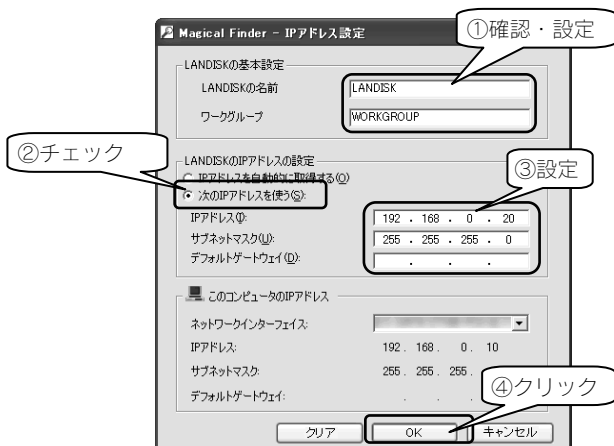
**注意**

- ネットワーク内に DHCP サーバーがない場合、[STATUS] ランプは赤く点滅します。ネットワーク内に DHCP サーバーがあるのに点滅している場合は、以下の手順を行ってください。
- ①いったん、本製品の「電源」ボタンを押して本製品の電源を切ります。
  - ②DHCP サーバーが正しく動作していること、本製品とネットワーク機器が LAN ケーブルで正しく接続されていることを確認します。
  - ③「電源」ボタンを押して、再度本製品の電源を入れます。

- 9 何も入力せずに [OK] ボタンをクリックします。



- 10 [LANDISK の名前] [ワークグループ] を確認後、お使いのネットワークに合わせた IP アドレスを設定後、[OK] ボタンをクリックします。



- 11 表示された画面の [OK] ボタンをクリックします。
- 12 最初の画面に戻りますので、[ブラウザ] ボタンをクリックします。本製品の設定画面が開きますので、[はじめて設定]をクリックして、画面の指示にしたがって設定してください。

次に【Windows からアクセスする】 (9 ページ) をご覧ください。



# Windows からアクセスする

## アクセスするときのご注意

### ●動作環境

#### ・パソコン本体

本製品は、「LAN インターフェイスを搭載し、TCP/IP が正常に動作するパソコン」に対応しています。

#### ・サポート対象 OS

本製品は、以下の OS でご使用の場合のみ、サポート対象とさせていただきます。

Windows Vista®

Windows XP

#### ・設定に必要なソフトウェア

本製品の設定には、以下の Web ブラウザーが必要です。

Internet Explorer バージョン 7.0 以上

### ●アクセスするときのご注意

本製品の [disk1] フォルダや [contents] フォルダ、あるいは、外付ハードディスクにファイルを読み書きする場合は、ご使用の前に、以下の項目を必ずご確認ください。

- ・本製品の使用中において、データが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。(故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。)
- ・動作中に本製品や増設用ハードディスクの電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
- ・本製品のファイルやフォルダに「読み取り専用」などの属性情報を設定することはできません。
- ・フォルダ名、ファイル名に使用できる文字の制限  
本製品で使用できるフォルダ名やファイル名には制限があります。  
詳細については、【文字制限】(66 ページ)をご覧ください。
- ・本製品にネットワーク経由で接続可能な端末数に制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。推奨する同時接続台数は 8 台までとなります。
- ・ファイルコピー中や動作中に増設外付用ハードディスクの電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。  
本製品の電源を切った後、増設用ハードディスクの ACCESS ランプを確認の上、電源を切ってください。

- ・ [disk1] フォルダには<レグザ>から直接録画されたコンテンツが保存されますので、[disk1] フォルダ内のファイルは削除しないでください。削除すると、コンテンツが壊れるなど不具合の原因となります。
- ・ 本製品がリビルド中やアクティブリペア中は、<レグザ>の追っかけ再生を行わないでください。
- ・ リビルド中に<レグザ>からのダビング/ムーブ操作や、パソコンからのコンテンツ操作を行わないでください。

# Windows Vista®からアクセスする

- 1 [スタート]をクリックし、[検索の開始]をクリック後、**¥¥hv14-xxxxxx** と入力し [Enter]キーを押します。

※本製品の名前を変更した場合は、変更した名前を入力してください。

※xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁です。

詳しくは、【注意：本製品の名前について】（5 ページ）をご覧ください。



**注意** 本製品が見つからない場合は、【困ったときには】（40 ページ）をご覧ください。

- 2 本製品の共有フォルダの一覧が表示されます。  
[contents]フォルダをダブルクリックします。



- 3 表示された [contents] フォルダ内にファイルを書き込むことができます。  
このフォルダ内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。

接続

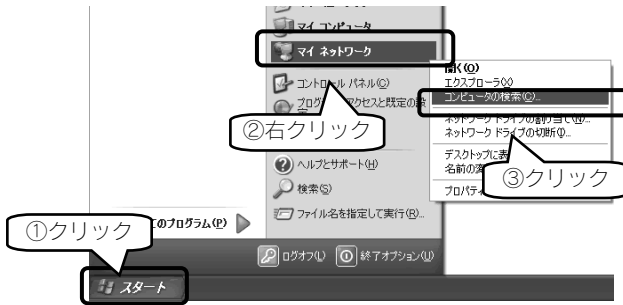
設定

困ったときには

仕様

# Windows XP からアクセスする

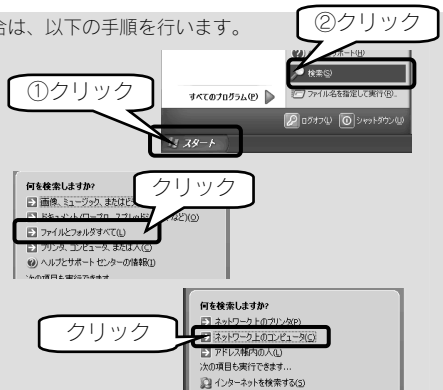
- 1 [スタート] → [マイネットワーク] → [コンピュータの検索] をクリックします。



## 注意

表示に「マイネットワーク」がない場合は、以下の手順を行います。

- ① [スタート] → [検索] をクリックします。
- ② "何を検索しますか?" で [プリンタ、コンピュータ、または人] をクリックします。
- ③ "何を検索しますか?" で [ネットワーク上のコンピュータ] をクリックします。



## 注意

Windows サーチ 4.0 がインストールされている場合

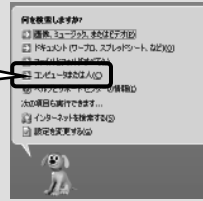
- ① [マイネットワーク] を右クリックして、「コンピュータの検索」をクリックします。
- ② 画面左下の「ここをクリックして検索コンパニオンを使用します。」をクリックします。



**注意**

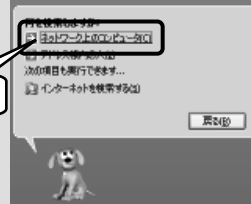
③左側メニューから「コンピュータまたは人」をクリックします。

クリック



④左側メニューから、「ネットワーク上のコンピュータ」をクリックします。

クリック



⑤コンピュータ名に該当の名前を入力し、[検索]ボタンをクリックします。

- 2 [コンピュータ名]に **¥¥hvl4-xxxxxx** と入力し、[検索]ボタンをクリックします。  
※本製品の名前を変更した場合は、変更した名前を入力してください。  
※xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁です。  
詳しくは、【注意：本製品の名前について】（5 ページ）をご覧ください。



①入力

※本製品の名前を変更した場合は、本製品に設定した名前を入力してください。

②クリック

接続

設定

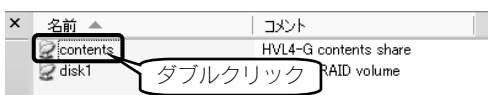
困ったときには

仕様

- 3 「HVL4-G series」が検索されますので、ダブルクリックします。  
2つ表示された場合は、どちらかをダブルクリックします。  
Windows XP から、本製品のコンピュータ名で検索を行った場合、2つの「HVL4-G series」が発見されることがあります。  
2つのうちどちらかをダブルクリックしてください。  
これは、本製品が使用しているファームウェアによる仕様となります。

**注意** ■ 本製品が見つからない場合は、【困ったときには】（40 ページ）をご覧ください。

- 4 [contents]フォルダをダブルクリックします。



- 5 表示された [contents] フォルダ内にファイルを書き込むことができます。  
このフォルダ内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。

# 設定画面の開き方

## <レグザ>から開く

- 1 <レグザ>のリモコンの[レグザリンク]ボタンを押します。
- 2 [映像を見る/機器選択]にカーソルを合わせ、[決定]ボタンを押します。
- 3 [LAN-S HVL4xxxx]にカーソルを合わせ、[クイック]ボタンを押します。
- 4 クイックメニューの[機器情報]を選択し、本製品の[IP アドレス]の値を確認し、メモします。
- 5 <レグザ>取扱説明書内の「URL を入力して Web ページを見る」の手順にしたがって、Web ページを開きます。

4でメモした IP アドレスにしたがって、URL を入力します。

例) IP アドレスが“192.168.0.200” の場合、次のように入力します。

<http://192.168.0.200/>

本製品の設定画面が開きます。



接続

設定

困ったときには

仕様

# Windows から開く

- 1 Magical Finder を起動します。
- 2 「ブラウザ」 ボタンをクリックします。  
本製品の設定画面が開きます。



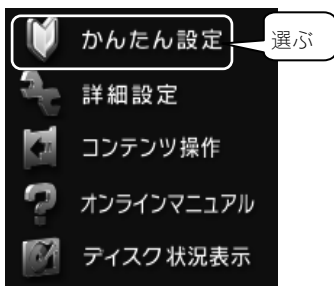
## 注意

- 本製品が検索されない場合
- 30 秒ほど待ってから[情報の更新]ボタンをクリックしてください。
- 【困ったときには】 (40 ページ) をご覧ください。

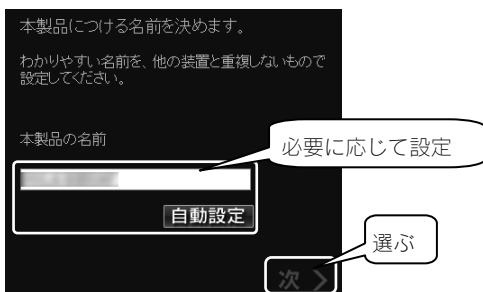


# かんたん設定

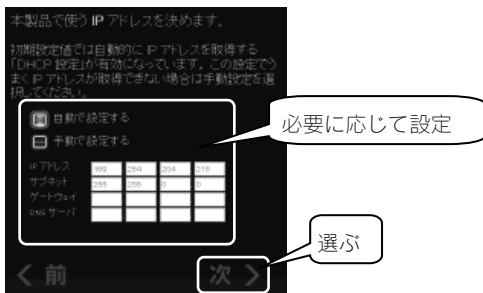
- 1 本製品の設定画面で、「かんたん設定」を選びます。



- 2 本製品の名前を変更することができます。  
お好きな名前に変更するか、「自動設定」を選ぶと名前を自動で設定します。  
[次]を選びます。



- 3 本製品のIPアドレスを設定できます。  
初期設定値では自動的にIPアドレスを取得する設定になっていますが、IPアドレスが取得できない場合は、手動にて設定することもできます。  
[次]を選びます。



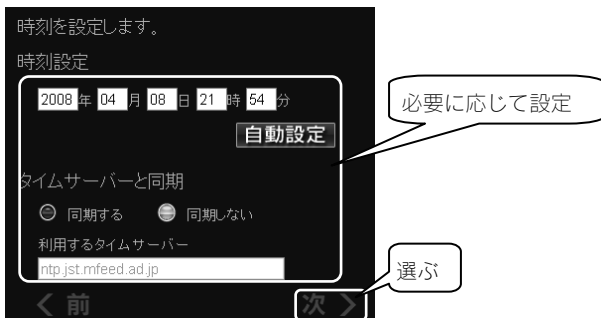
接続

設定

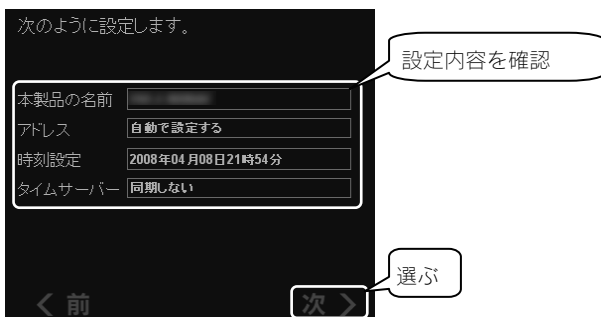
困ったときには

仕様

- 4 時刻設定ができます。  
手動で設定する場合は、日付時刻を入力します。[自動設定]ボタンをクリックすると現在の時刻を自動入力します。  
タイムサーバーを使用する場合は、[同期する]を選びます。  
[次]を選びます。



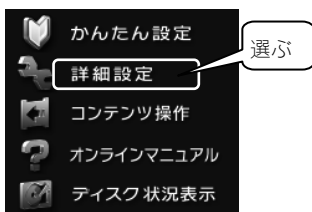
- 5 設定した内容の確認をして、[次]を選びます。  
設定中は電源を切らないでください。



以上でかんたん設定は完了です。

# 詳細設定

- 1 本製品の設定画面で、[詳細設定]を選び、[決定]ボタンを押します。



- 2 本製品の設定画面が表示されます。  
各項目については、次ページ以降をご覧ください。



接続

設定

困ったときには

仕様

## [セキュリティ設定]

本製品のセキュリティ設定を行います。

MACアドレス別アクセス設定

許可 禁止 削除 MACアドレス

\_\_\_\_\_ ▲

\_\_\_\_\_ ▼

上記リスト以外の機器からのアクセス設定

接続を許可  接続を禁止

OK

項目	設定する内容
MAC アドレス別アクセス設定	ネットワーク上で検出された機器の MAC アドレス別にアクセスの [許可]、[禁止]、[削除]の動作を設定できます。
上記リスト以外の機器からのアクセス設定	[MAC アドレス別アクセス設定]にて設定した機器以外からのアクセスを設定します。

## [システム設定]

本製品のシステム設定を行います。  
設定を変更し、「OK」を押してください。

### UPS 警告

有効  無効

### UPS シャットダウン条件

停電後の経過時間

バッテリー充電容量

### ランプの明るさ

明るい  普通  暗い

接続

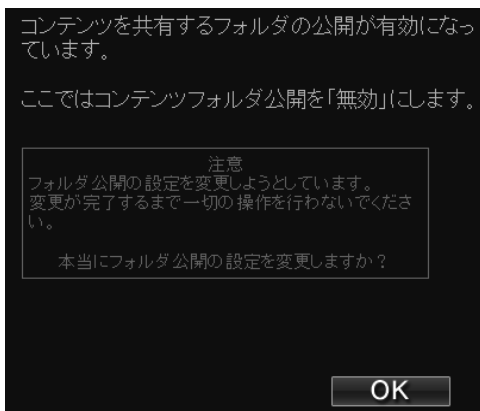
設定

困ったときには

仕様

項目	設定する内容		出荷時設定
UPS 警告	有効に設定すると、UPS の接続が確認できない、または、停電状態を検出すると、ブザー音と STATUS ランプ（赤点滅）でお知らせします。		無効
UPS シャットダウン条件	本製品に対応した UPS 装置を USB 接続したときのみ有効です。		-
	停電後の経過時間	停電を検出後、指定時間が経過すると、本装置のシャットダウンを開始します。	10 分後
	UPS バッテリー充電時間	UPS 装置のバッテリー充電容量が指定の充電容量以下になったことを検出したとき、本装置のシャットダウンを開始します。	10%以下
ランプの明るさ	明るい	最も明るい設定です。	明るい
	普通	若干明るさを抑えた設定です。	
	暗い	最も暗い設定です。	

## [フォルダ公開]



[disk1]、[contents] フォルダの公開について「有効」「無効」を設定します。

※出荷時設定は「有効」となってます。

「無効」に設定した場合、<レグザ>から録画や再生などのアクセスができなくなります。

[OK] をクリックすると設定変更を開始します。

# [シャットダウン]

シャットダウンまたは再起動を行います。  
処理を選択してください。

- 今すぐシステムシャットダウン
- 今すぐシステム再起動

OK

接続

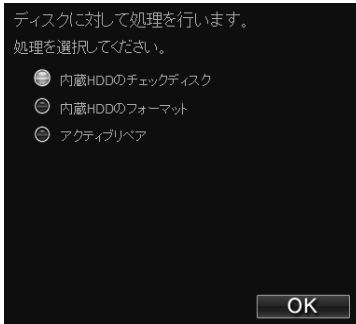
設定

困ったときには

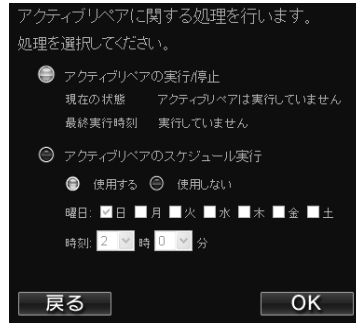
仕様

項目	設定する内容
今すぐシステムシャットダウン	本製品をシャットダウンします。 シャットダウン処理ではシステムの電源を安全に切断できるよう、設定情報や管理情報の更新作業の他、一時記憶されているデータファイルの保存作業を行います。STATUS ランプが消灯するまでそのままお待ちください。[STATUS] ランプが消灯することを確認するまでは電源ケーブルを抜かないでください。
今すぐシステム再起動	本製品を再起動します。

# [ディスク]



## ▼アクティブリペア選択時



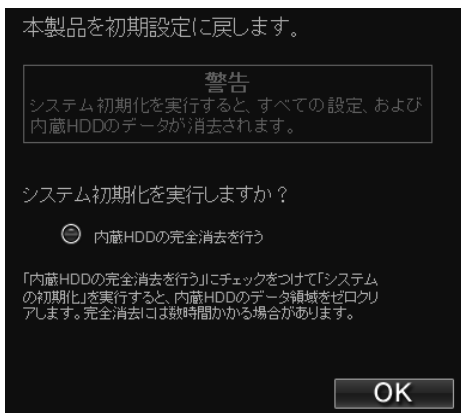
項目	設定する内容
内蔵 HDD チェックディスク	内蔵ハードディスクに論理的なエラーが発生していないか調査します。 エラーがあった場合には、ファイル構造を修復します。
内蔵 HDD フォーマット	内蔵ハードディスクをフォーマットします。
アクティブリペア	アクティブリペアとは、RAID のディスクの一部に不良セクタが発見された場合、他の正常なディスクからデータを読み込んで、異常のあるディスクに書き込むことによって、ディスク不良によるデータ破損を防止する機能です。 選択して、[OK]を選び、[決定]ボタンを押すと右の画面になります。 以下をご覧ください。

## ▼アクティブリペア選択時

項目	設定する内容	
アクティブリペアの 実行/停止	現在の状態	現在のアクティブリペアの実行状態または結果を表示します。
	最終実行時刻	最後にアクティブリペアを実行した時刻が表示されます。
アクティブリペアの スケジュール実行	設定した日時にアクティブリペアを自動的に実行したい場合は「使用する」をチェックし、曜日、時刻を指定します。	
	曜日	アクティブリペアする曜日を指定します。 ※複数の指定が可能です。
	時刻	アクティブリペアする時刻を指定します。 24 時間制で指定します。 例) 午後 9 時ちょうどの場合は、[21]時[0]分



# [システム初期化]



接続

設定

困ったときには

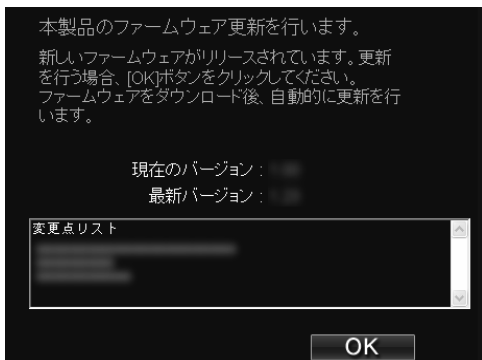
仕様

項目	設定する内容
システム初期化	<p>すべての項目を本製品の出荷時設定値に戻し、内蔵ハードディスクもフォーマットします。</p> <p>出荷時設定については、【出荷時設定】（65 ページ）をご覧ください。</p> <p>[内蔵 HDD の完全消去を行う]に、チェックすると、出荷時設定へ戻すと同時に内蔵ハードディスクのデータ領域を 0（ゼロ）クリアします。</p> <p>IP アドレスのみを出荷時設定に戻す場合は、【IP アドレスを出荷時設定に戻す】（56 ページ）をご覧ください。</p>

## 注意

- [内蔵 HDD の完全消去を行う]をチェックした場合、内蔵ハードディスクをフォーマットした後、全てのデータ領域に 0（ゼロ）を書き込みます。
- 本製品を廃棄や譲渡される場合にチェックしてください。（本処理には、目安として、1G バイトあたり約 1 分ほど要します。）

## [ファームウェア更新]



### 注意

- ファームウェア更新中は本製品の電源を切らないでください。
- 本製品アクセス時には、ファームウェア更新は行わないでください。
- ファームウェア更新が終わらない場合は、【ファームウェアの更新が終わらない】（54ページ）をご覧ください。

項目	設定する内容
ファームウェア更新	<p>「最新ファームウェア自動チェック機能」により、新しいファームウェアが公開されていた場合、本画面からファームウェアの更新を行ってください。更新されたファームウェアがないか確認し、結果を表示します。表示された画面にて、[OK]を選択し[決定]ボタンを押すとファームウェアのダウンロードと更新が始まります。ファームウェアの更新には、10分程度かかります。ファームウェアの更新完了後、本製品は自動的に再起動します。</p> <p>※「最新ファームウェア自動チェック機能」とは、インターネットに接続され弊社ホームページへの接続が可能な場合、定期的(起動時と1日1回の2つのタイミング)に新しいファームウェアが公開されていないか自動的にチェックを行う機能です。新しいファームウェアが公開されている場合、[STATUS]ランプが赤4回緑1回を繰り返して点滅します。</p>

# コンテンツ操作

※パソコンからのみ操作できます。

接続

設定

困ったときには

仕様

<レグザ>からダビングやムーブしたコンテンツなどを、別の LAN DISK AV シリーズに再ムーブすることができます。

## 必要環境

ファイル転送動作を保証する Web ブラウザーとして以下が必要です。

InternetExplorer バージョン7 以上

### 注意

●ファイル転送ツールは JavaScript を使用しています。Web ブラウザーの環境設定で、[JavaScript の使用]を[許可]に設定してください。

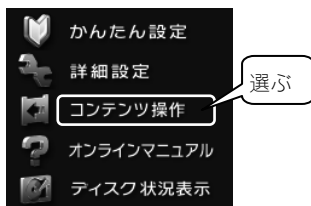
## ●ファイル転送（アップロード）可能なフォーマット一覧

▼動画							
mpg	mpe	mpeg	m2p	vob	tts	mts	m2ts
wmv							
▼画像							
jpg	jpeg						
▼音楽							
mp3	wma	lpcm	pcm				

※拡張子が一致していても、形式が異なるコンテンツはファイル転送できない場合があります。

## ●起動方法と画面説明

- 1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] をクリックします。



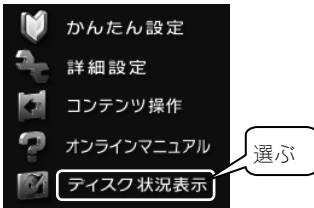
- 2 [ファイル転送] 画面が表示されます。  
この画面でコンテンツ操作を行います。



全て選択	「タイトル」内に表示されたコンテンツ全てを選択します。	
全て解除	選択したコンテンツの選択を解除します。	
転送	選択したコンテンツを指定の DMS に転送します。 複数のコンテンツを一括ムーブ・コピー操作ができます。	
削除	選択したコンテンツを削除します。 ※ファイル転送を行った転送先 HVL4 シリーズのコンテンツを削除することはできません。 ※NTFS フォーマットのハードディスクに入ったコンテンツは削除できません。	
ホーム	メニュー画面に戻ります。	
フォルダ	「dlna」	<レグザ>からダビングや/ムーブされたコンテンツが保存されています。
	「contents」	パソコンから保存された DLNA コンテンツが保存されています。
	「USB1」	本製品に接続されているデバイスが表示されます。
タイトル	コンテンツの一覧が表示されます。	
ページ移動ボタン (画面下部)	コンテンツは 1 画面に 20 個まで表示できます。 20 個を超える場合は複数のページに分割されて表示されますので、ページ移動ボタンをクリックし、ページを移動させ表示します。	

# ディスク状況表示

- 1 本製品の設定画面で、[ディスク状況表示] を選びます。



- 2 [ディスク状況表示] 画面が表示されます。



▼内蔵ボリューム情報		
RAID モード	現在の RAID モードを表示します。	
動作状況	現在の動作状況を表示します。	
	正常動作しています	正常に動作しています。
	再構築を行っています (再構築：XX%完了)	新しいディスクが追加され、RAID の再構築を行っています。
	構成ディスクに問題が発生しています	RAID の構成に問題が発生しています。 → <u>異常が発生しているディスクを新しいものに交換してください。</u>
	RAID 構成が崩壊しています	RAID が崩壊しています。
構成ディスク情報	現在構成しているドライブ情報です。	
	正常動作中	本製品で正常に認識されています。

接続

設定

困ったときには

仕様

▼内蔵ボリューム情報 (つづき)		
構成ディスク情報	未接続	本製品で認識されていません。内蔵ハードディスクの交換、またはケーブルの抜き差しが必要な状態です。
	容量不足	本製品で認識されていますが、RAID に組み込めない状態です。接続したディスクの容量が RAID に組み込むために必要な容量よりも小さい場合にこの状態になります。  →必要な容量以上のディスクに交換してください。
	故障	本製品で認識されていますが、接続したディスクの S.M.A.R.T. 事故診断機能で故障と判断されていますので、RAID に組み込めない状態です。  →ディスクを交換してください。
	エラー	本製品で認識されていますが、接続したディスクにエラーが多数発生しており、危険な状態のため、RAID に組み込めない状態です。  →ディスクを交換してください。
▼内蔵ボリューム使用状況		
総容量	ボリューム全体の容量を表示します。 (1Kbyte = 1000byte にて算出しています。)	
空き容量	ボリュームの空き容量を表示します。%は空き容量の占める割合です。(1Kbyte = 1000byte にて算出しています。)	

# 共有フォルダを使う

## ネットワーク上での本製品の表示

本製品や本製品に接続した外付ハードディスクへのファイルの読み書き（アクセス）は、ネットワーク上から行います。

ネットワーク上から本製品に作成されている共有フォルダを通して、ネットワーク上のパソコンからファイルを共有することができます。また、<レグザ>で録画したコンテンツの保存先になることができます。共有フォルダに対してアクセス権限などの設定はできません。

### ●共有フォルダ名

- ・ disk1→<レグザ>で録画したコンテンツを保存するためのフォルダです。
- ・ contents→パソコンから DLNA 公開用のコンテンツを入れてください。

接続

設定

困ったときには

仕様

# 共有フォルダにアクセスする

1 ネットワークにログオンします。

2 ●Windows Vista®の場合

[スタート]をクリックし、[検索の開始]をクリック後、**¥¥hvl4-xxxxxx** と入力し [Enter]キーを押します。

※本製品の名前を変更した場合は、変更した名前を入力してください。

※xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁です。

詳しくは、【注意：本製品の名前について】（5 ページ）をご覧ください。

この後、5へお進みください。



## 注意

本製品が見つからない場合は、【困ったときには】（40 ページ）をご覧ください。

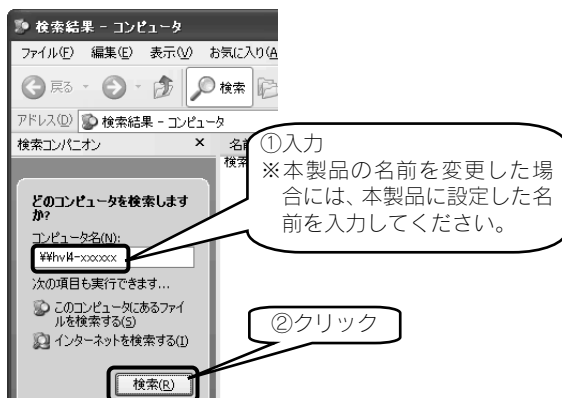
●Windows XP の場合

[スタート]→[マイネットワーク]→[コンピュータの検索]で、[コンパニオンを使用します。]をクリックします。





- 3 ●Windows XP の場合のみ (Windows Vista®の場合は、5へお進みください。)  
[コンピュータ名]に、**¥¥hvl4-xxxxxx** と入力し[検索]ボタンをクリックします。  
※本製品の名前を変更した場合は、変更した名前を入力してください。  
※xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁です。  
詳しくは、【注意：本製品の名前について】 (5 ページ) をご覧ください。



- 4 ●Windows XP の場合 (Windows Vista®の場合は、5へお進みください。)  
「HVL4-G series」が検索されますので、ダブルクリックします。  
2つ表示された場合は、どちらかをダブルクリックします。  
Windows XP から、本製品のコンピュータ名で検索を行った場合、2つの「HVL4-G series」が発見されることがあります。  
2つのうちどちらかをダブルクリックしてください。  
これは、本製品が使用しているファームウェアによる仕様となります。

**注意**

本製品が見つからない場合は、【困ったときには】 (40 ページ) をご覧ください。

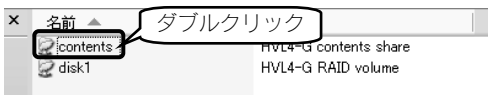
接続

設定

困ったときには

仕様

5 [contents]フォルダをダブルクリックします。



表示された共有フォルダ内にファイルを書き込むことができます。

# USB 機器を接続する

## 接続できる USB 機器

USB 接続ハードディスクを増設することにより、USB 接続ハードディスクに記録されている DLNA 対応コンテンツをネットワーク上に公開することができます。

### 注意

- 最新の対応機器については、弊社ホームページ (<http://www.iodata.jp/>) をご覧ください。
- 接続した USB ハードディスクに <レグザ> の番組を録画、ダビングはできません。

### ●接続できるハードディスク

- |                  |                 |                |                |
|------------------|-----------------|----------------|----------------|
| ・ HDZ-UE シリーズ    | ・ HDW-UE シリーズ   | ・ HDW-UES シリーズ | ・ HDX-UE シリーズ  |
| ・ HDA-iU シリーズ    | ・ HDOT-U シリーズ   | ・ HDOT-UE シリーズ | ・ HDH-U シリーズ   |
| ・ HDH-UL シリーズ    | ・ HDH-UEH シリーズ  | ・ HDH-US シリーズ  | ・ HDH-USR シリーズ |
| ・ HDA-iUM シリーズ   | ・ HDPX-U シリーズ   | ・ HDPX-SU シリーズ | ・ HDC-U シリーズ   |
| ・ HDC-UX シリーズ    | ・ HDH-SU シリーズ   | ・ RHD2-U シリーズ  | ・ RHD-UX シリーズ  |
| ・ USB2-iVDR シリーズ | ・ HDCN-U シリーズ   | ・ HDCS-U シリーズ  | ・ HDPS-U シリーズ  |
| ・ HDPG-SU シリーズ   | ・ HDPG-SUX シリーズ | ・ HDP-U シリーズ   | ・ HDP-US シリーズ  |

※iSPIS 対応ハードディスクを本製品でご利用いただく場合、iSPIS 機能は使用できません。

※バスパワーモードのハードディスクは、使用できません。ハードディスクはセルフパワーモードでご利用ください。

※HDOT-U シリーズ、HDOT-UE シリーズのワンタッチボタンは利用できません。

※RHD2-U シリーズのマルチディスクモードでご使用になる場合は、HDD 1 のみ本製品で使用できます。

※HDPG シリーズについては、シングルモードのみ使用できます。

### ●USB 接続ハードディスクの対応フォーマット

FAT32、NTFS

### ●接続できる UPS

APC 社の UPS (USB 接続タイプ)

小型タイプ

ES500、ES725、CS350、CS500、BR900-JP、BR1200LCD-JP

大型タイプ

SUA500JB、SUA750JB、SUA1000JB、SUA1500JB、SUA2200JB、SUA3000JB、  
SUA750RMJ1UJB、SUA1500RMJ2UB

# USB 接続ハードディスクの接続方法

## ●USB 接続ハードディスクを接続する

### 注意

●本製品の USB ポートに接続できるハードディスクは、FAT 形式または NTFS 形式のハードディスクのみです。

- 1 本製品の電源が入っていることを確認します。  
※本製品の電源が入っている状態で接続できます。
- 2 USB 接続ハードディスクの電源を ON にします。  
USB 接続ハードディスクの電源の入れ方については、USB 接続ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。  
電源連動機能がある場合は、電源ボタン（スイッチ）を [AUTO] または [ON] にします。本製品に接続するまで、USB 接続ハードディスクの電源は入りませんが、問題ありません。  
※電源連動機能については、USB 接続ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。
- 3 本製品前面の USB ポート 1 に、USB 接続ハードディスクを接続します。

### 注意

●必ず、USB 接続ハードディスクの電源を入れてから、本製品に接続してください。

●本製品の [STATUS] ランプが点滅中は、USB 接続ハードディスクを接続しないでください。  
本製品の電源が入っている状態で接続できますが、[STATUS]ランプが点滅中（設定画面操作中）や、本製品にアクセス中（[ACCESS] ランプが点滅中）に USB 接続ハードディスクを接続しないでください。  
本製品にすでに別の USB 接続ハードディスクを接続している場合にも、その USB 接続ハードディスクのランプをご確認ください。

●ブザーが「ピーピーピー」と鳴り、[STATUS]ランプが赤く点滅した場合は、USB 接続ハードディスクが FAT/NTFS 形式ではありません。Windows パソコンに直接接続してフォーマットしてください。

- 4 お使いの<レグザ>やパソコンから、接続した USB 接続ハードディスク内のコンテンツが再生できることをご確認ください。

以上で接続は完了です。

## ●USB 接続ハードディスクを取り外すには

USB 接続ハードディスクを取り外す場合は、本製品前面の[FUNC]ボタンで取り外し操作を行う必要があります。

取り外し時は、本製品の電源が入っている状態で取り外すことができます。

下記の手順にしたがって取り外しを行ってください。

### 注意

- コンテンツ公開中に、USB ポートに接続した機器の接続や取り外しをしたり、本製品や USB 接続ハードディスクの電源を切らないでください。コピーの処理が正常に行われません。
- 本製品動作中に以下の手順を行わずに、USB ケーブルを取り外すと、データの破損や本製品や USB 接続ハードディスクの故障の原因になります。何らかの理由で、USB 接続ハードディスクにアクセスが行われている最中に、USB ケーブルを取り外すとデータが破損するばかりか、本製品や USB 接続ハードディスクの故障の原因になります。必ず以下の手順を行ってください。
- 本製品をシャットダウンし、本製品の電源を切った後に取り外すこともできます。

- 1 本製品前面の[FUNC]ボタンを“ピッ”と鳴るまで1秒程度押します。
- 2 [STATUS]ランプが点滅します。しばらくお待ちください。
- 3 [STATUS]ランプが点灯し、“ピー”と鳴ったら、USB 接続ハードディスクの USB ケーブルを本製品から取り外します。

### 注意

- 本製品の電源が入っている状態で本製品から取り外すことができます。

- 4 USB 接続ハードディスクの電源を切ります。  
電源連動機能がある場合は、USB ケーブルを取り外した時点で、電源が切れます。  
※USB 接続ハードディスクの電源の切り方については、USB 接続ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。  
※電源連動機能については、USB 接続ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。

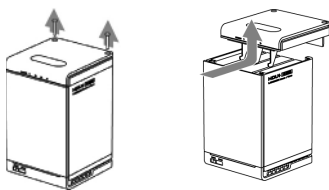
以上で作業は完了です。

### 注意

- データが破損する可能性がありますので、<レグザ>からの録画やダビングなど本製品へのアクセス時に、USB 接続ハードディスクを接続したり、取り外すことはしないでください。

# 内蔵ハードディスクを交換する

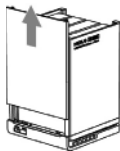
- 1 交換用ハードディスクを準備します。  
交換用ハードディスクは必ずオプションハードディスクをご使用ください。（別紙【必ずお読みください】参照）
- 2 上部カバーのネジ2本を外し、後方へスライドしてから上方向へ持ち上げます。



- 3 上部カバーを持ったまま、フロントカバーを上へスライドさせて外します。

## 注意

●上部カバーに付いているケーブルを外さないようにご注意ください。

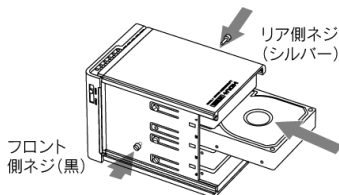


- 4 本製品を横にして、ハードディスクを入れ換え、添付のネジ（フロント：黒、リア：シルバー）で固定します。

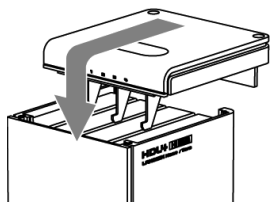
## 注意

●ハードディスクの取り付け向きが逆になっている場合、コネクタが破損する場合があります。ご注意ください。

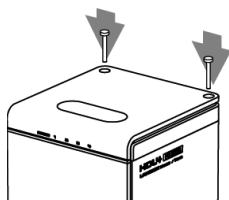
●ネジの長さが異なりますので、間違えないようにご注意ください。



- 5 上部カバーを持ち上げ、ケーブルに注意しながらフロントカバーを下方方向にスライドさせ取り付けます。  
※フロントカバー内側のくぼみにケーブルが収まるように取り付けてください。



- 6 上部カバーのネジを取り付けます。



以上で作業は完了です。

接続

設定

困ったときには

仕様

# 困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

- 弊社ホームページの[製品 Q&A]もご覧ください

<http://www.iodata.jp/support/product/hvl4-g/>

サポート Web ページには、最新の情報や過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

- 本製品起動時のトラブル ..... 42
  - ・ 本製品の電源を入れると、STATUS ランプが赤点滅し、ブザーがピーピーピーと3回鳴った ..... 42
  - ・ どうしても起動停止状態となるため、本製品を起動できない ..... 42
  - ・ 使用中に [ACCESS] ランプがすべて赤く点灯し、「ピーポーピーポー」と鳴り続けている ..... 42
  - ・ 起動時に [ACCESS] ランプがすべて赤く点灯し、「ピーポーピーポー」と鳴り続けている ..... 42
  - ・ 起動時、または起動中に [ACCESS] ランプが消灯しているディスクがある ..... 44
  - ・ RAID が崩壊した ..... 44
- セットアップ時のトラブル ..... 46
  - ・ 現在のネットワーク環境に DHCP サーバーがあるかわからない ..... 46
  - ・ DHCP サーバーがあるのに、STATUS ランプが赤く点滅している ..... 48
  - ・ [本製品の名前]を変更したい ..... 49
  - ・ ACT/LINK ランプが点灯あるいは点滅していない ..... 50
  - ・ Magical Finder で本製品が検索されない ..... 50
- 設定画面のトラブル ..... 54
  - ・ 設定画面で文字が入力できない ..... 54
  - ・ 設定画面上から入力できる文字制限について ..... 54
  - ・ 「現在システムは処理中です。しばらく待ってから操作してください。」と表示された ..... 54
  - ・ 設定画面の動作が遅い ..... 54
  - ・ ファームウェアの更新が終わらない ..... 54
  - ・ 設定画面上の表示が乱れている、画像やボタンが重複して表示される ..... 55
- 本製品へアクセス時のトラブル ..... 52
  - ・ [コンピュータの検索]で [hvl4] が見つからない ..... 52



●本製品の IP アドレスについて .....	56
・ 本製品に設定した IP アドレスを忘れた .....	56
・ 本製品に設定されている IP アドレスを調べたい .....	56
●ランプやブザーについて .....	57
・ 起動時に [ACCESS] ランプがすべて赤く点灯し、「ピーポーピーポー」と 鳴り続けている .....	57
・ 使用中、または、起動時に [ACCESS] ランプがすべて赤く点灯し、 「ピーポーピーポー」と鳴り続けている .....	57
・ ACT/LINK ランプが点灯または点滅していない .....	57
・ ランプの動作について知りたい .....	57
・ STATUS ランプが赤く点滅している .....	58
●内蔵や USB 接続ハードディスクについて .....	59
・ USB 接続ハードディスクのパソコンでのフォーマット方法について .....	59
・ テフラグ機能はありますか? .....	59
●タイムサーバー機能使用時のトラブル .....	60
・ タイムサーバーとの同期が行われない .....	60

## 本製品起動時のトラブル

本製品の電源を入れると、STATUS ランプが赤点滅し、ブザーがピーピーピーと3回鳴った

原因	DHCP サーバーから本製品の IP アドレスを取得できていない。 ※本製品の IP アドレスの設定が、自動取得(出荷時設定)に設定されている場合で、接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、STATUS ランプが点滅します。
対処	接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。 ※DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に、固定の IP アドレス：192.168.0.200 に設定されます。

原因	DHCP サーバーのない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。
対処	本製品の IP アドレスを手動で固定の IP アドレスに設定してください。

原因	本製品が取り扱えない USB 機器が USB ポートに接続された。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB ポートに接続された場合、接続に失敗したことを STATUS ランプの赤点滅で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取り外してください。しばらくすると緑点灯に変わります。

原因	内蔵ボリュームにエラーが発生した。
対処	[ディスク状況表示] 画面で、内蔵ボリュームの状態を確認してください。 【ディスク状況表示】 (29 ページ)

原因	<レグザ>の LAN 端子に直接本製品を接続しているため、DHCP サーバーがない。
対処	<レグザ>と本製品を直接接続した場合は、DHCP サーバーがなくてもそのままご使用頂けますので、特に対処の必要はありません。STATUS ランプの点滅が気になる場合は、電源ボタンを軽く押すことで緑点灯とすることができます。

どうしても起動停止状態となるため、本製品を起動できない

対処	起動停止状態の対処については、次ページを参照してください。
----	-------------------------------

使用中に [ACCESS] ランプがすべて赤く点灯し、「ピーポーピーポー」と鳴り続けている

原因	RAID 崩壊の状態です。
対処	前面の [FUNC] ボタンを押していったんブザーを止めた後、次ページを参照してください。

起動時に [ACCESS] ランプがすべて赤く点灯し、「ピーポーピーポー」と鳴り続けている

原因	起動を停止している状態です。
対処	前面の [FUNC] ボタンを押していったんブザーを止めた後、次ページを参照してください。

## ●起動停止状態を確認する

本製品起動時に、[STATUS] ランプが赤点滅、[ACCESS] ランプが赤点灯し、ブザーが「ピーポーピーポー」と鳴り続けている場合は、本製品が何らかの理由で起動停止している状態です。以下の手順で起動停止状態を確認し、原因・対処をご確認ください。

### ステップ1 <レグザ>のIPアドレスを一時的に変更する

本製品起動途中の場合、本製品は、「192.168.0.200」固定のIPアドレスで起動しています。この時、停止画面を開くには、以下のように<レグザ>側も一時的に「192.168.0」と同じセグメントで「192.168.0.200」以外に設定する必要があります。

[IPアドレス] : 192.168.0.xxx

(xxxには200を除く1~254のいずれかの値)

[サブネット] : 255.255.255.0

※ネットワーク内にDHCPサーバーのあり、なしにかかわらず、本製品は「192.168.0.200」の固定のIPアドレスで起動しています。

### 注意

●<レグザ>のIPアドレスの設定方法がわからない

⇒<レグザ>の取扱説明書をご覧ください。

●後で元の設定に戻しますので、必ず現在の [IP アドレス] [サブネット] [ゲートウェイ] [DNS サーバ] などはメモしておいてください。

### ステップ2 停止画面を開く

1 Web ブラウザを起動して下記を入力し、[Enter]キーを押します。

http://192.168.0.200/

2 停止画面が表示されます。

「RAID 崩壊モード」と表示されている場合は、次の対処を行ってください。

原因	内蔵システムディスク 1 台のみで起動した状態です。
対処	いったんシャットダウンし、内蔵HDDが正しく接続されているかご確認ください。

原因	本製品の内蔵ボリュームを構成するために必要なディスクの台数が不足しています。 ・各ディスクの最終更新時刻が異なるため、内蔵ボリュームを構成できない。 ・ディスクの交換により、内蔵ボリュームが構成できない。 ・ディスクの故障により、ディスクを認識できないため、内蔵ボリュームを構成できない
対処	いったんシャットダウンし、必要な台数のディスクを接続してください。(故障と思われるディスクは交換してください。)



原因	RAID が崩壊している状態です。
対処	【RAID を再設定する】 (44 ページ)

起動時、または起動中に [ACCESS] ランプが消灯しているディスクがある

原因	ディスクを正しく取り付けしていない。
対処	[ACCESS] ランプが消灯するディスクの取り付けを確認してください。

原因	ディスクの故障により、本製品が使用しない状態になっている。
対処	いったん本製品をシャットダウンし、再びシステムを起動しても同様に[ACCESS]ランプが消灯の場合は、該当するディスクは故障していると考えられますので、ディスクの交換をおすすめします。

## RAID が崩壊した

対処	<p>本製品起動時、または使用中に内蔵ディスクの RAID に異常が発生し、RAID が崩壊した状態 (RAID 崩壊モード) となった場合、[ACCESS] ランプがすべて赤く点灯し、「ピーポーピーポー」と鳴り続けている状態になります。また、設定画面上では、以下のように表示されます。</p> <p>▼かんたん設定の場合</p>  <p>▼ディスク状況表示の場合</p>  <p>いったん、強制的に内蔵ボリューム 1 を再設定 (RAID を再設定) するしかありません。手順については、以下をご覧ください。</p>
----	---

## ●RAID を再設定する

### 注意

- 再設定を行うと、内蔵ディスクの RAID を再度作成し直しますので、内蔵ディスクに保存されていたデータは失われます。ただし、それ以外のネットワークやシステムなどの各種設定は引き継ぐことができます。
- すべての内蔵ディスクを交換して RAID を再構築することはできません。
- 内蔵ディスクは 4 台接続した状態で RAID を再構成してください。

## はじめに

本製品使用中に RAID が崩壊した場合は、いったん電源を OFF にしてください。

## ステップ1 電源を ON にする

- 1 本製品の [電源] ボタンを押します。  
しばらくすると、ブザーが「ピーポーピーポー」と繰り返し鳴り、[STATUS] ランプが赤点滅、すべての [ACCESS] ランプが赤点灯します。  
※本製品は RAID が崩壊しているため、システムを起動停止している状態です。

## 注意

●接続していない内蔵ハードディスクがある場合、その内蔵ハードディスクの [ACCESS] ランプは、消灯します。すべての [ACCESS] ランプが赤点灯していることを確認してください。

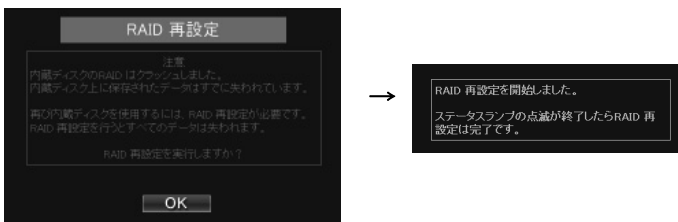
- 2 [FUNC] ボタンを押して、ブザーを止めます。

## ステップ2 システムを起動させる

本製品背面のリセットスイッチを長押しします。  
→ [RAID] 崩壊モードでシステム起動します。

## ステップ3 RAID を再設定する

- 1 本製品の設定画面を開きます。→【設定画面の開き方】（15 ページ）
- 2 [詳細設定]を選び、[決定]ボタンを押します。
- 3 次の画面で、[OK]を選び、[決定]ボタンを押します。  
→[RAID 再設定]を開始します。



- 4 次の画面が表示されたら、[OK]を選び、[決定]ボタンを押します。



これで RAID の再設定は終了です。

# セットアップ時のトラブル

現在のネットワーク環境に DHCP サーバーがあるかわからない

対処	ご使用のネットワーク環境に、「ブロードバンドルーター」「ルーター機能付きの ADSL モデム」「Windows NT 系のサーバー」などがある場合は、これらの DHCP サーバー機能を使用している可能性があります。 以下の【方法 1】あるいは【方法 2】などの手順で確認できます。
----	---

## 【方法 1】パソコンの IP アドレスの設定で確認する

すでにネットワーク内にあるインターネットなどに正常にアクセスできるパソコンの IP アドレスの設定で確認できます。

(IP アドレスの設定が” DHCP サーバーから取得する” 設定になっていて正常に LAN 内で使用できている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあります。)

### ●Windows Vista®の場合

- 1 [スタート] → [ネットワーク] をクリックします。
- 2 [ネットワークと共有センター] をクリックします。



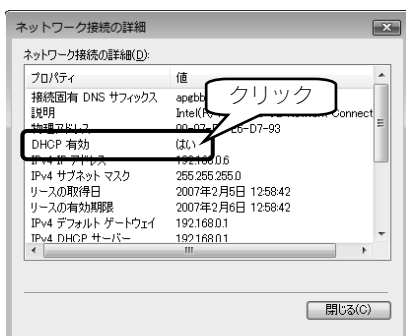
- 3 [状態の表示] をクリックします。



- 4 [詳細]をクリックします。



- 5 [DHCP 有効]欄に[はい]と表示されていれば、DHCP サーバーがあります。



接続

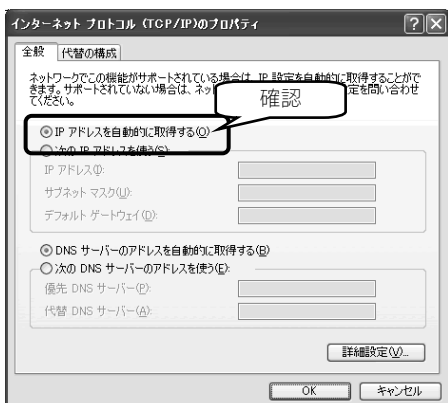
設定

困ったときには

仕様

●Windows XP の場合

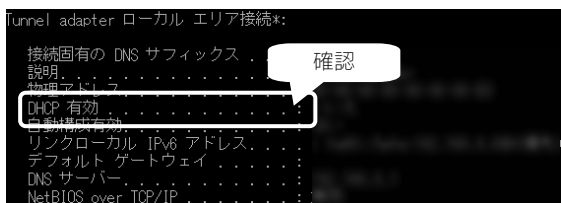
- 1 パソコンの IP アドレスを確認できる画面を開きます。
- 2 パソコンの IP アドレスの設定が、[IP アドレスを自動的に取得 (する)]となっている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあると考えられます。



## 【方法2】Windows 標準添付のツールを使って確認する

Windows 標準添付のツールで DHCP サーバーを利用しているかを確認できます。

- 1 [スタート] → [(すべての) プログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を開きます。
- 2 IPCONFIG -ALL  
(G と-の間にスペースが入ります)  
と入力して [Enter] キーを押します。
- 3 ●Windows Vista®の場合  
DHCP 有効の欄に「はい」が表示されている場合は、DHCP サーバーがあります。



### ●WindowsXP の場合

[DHCP Server]欄にアドレス (DHCP サーバーのアドレス) が表示されていれば、DHCP サーバーがあります。



DHCP サーバーがあるのに、STATUS ランプが赤く点滅している

原因	正しく接続されていない。
対処	いったん本製品の電源ボタンを押して電源を切り、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再度電源を入れてください。



原因	DHCP サーバーから本製品の IP アドレスが取得できていない。 ※本製品の DHCP クライアント設定が on(出荷時設定)に設定されている場合で、接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、STATUS ランプが赤く点滅します。
対処	接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。 ※DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に、固定の IP アドレス：192.168.0.200 に設定されます。

原因	DHCP サーバーがない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。
対処	本製品の IP アドレスを手動で固定の IP アドレスに設定してください。

原因	本製品が取り扱えない USB 機器が USB ポートに接続された。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB ポートに接続された場合、接続に失敗したことを STATUS ランプの赤点滅で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取り外してください。しばらくすると緑点灯に変わります。

原因	内蔵ボリュームにエラーが発生した。
対処	[ディスク状況表示] 画面で、内蔵ボリュームの状態を確認してください。

[本製品の名前]を変更したい

対処	[かんたん設定]画面で設定できます。
----	--------------------

ACT/LINK ランプが点灯あるいは点滅していない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	<p>本製品の電源が入っているか（ [STATUS] ランプが緑色に点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか（背面の [ACT/LINK] ランプが点灯または点滅しているか）確認してください。</p> <p>本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。</p>
原因	接続先のネットワーク機器の電源が入っていない。
対処	本製品接続先のネットワーク機器（ルーターやハブなど）の電源が入っているかご確認ください。

Magical Finder で本製品が検索されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	<p>本製品の電源が入っているか（ [STATUS] ランプが緑色に点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか（背面の [ACT/LINK] ランプが点灯または点滅しているか）確認してください。</p> <p>本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。</p>
対処	他のパソコンで Magical Finder を起動してご確認ください。
原因	セキュリティ関連のソフトウェアが制限している。
対処	<p>セキュリティ関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）の動作を一時的に停止していただき、本製品が検索されるかどうかをお試しください。</p> <p>また、一時的に停止した場合に検索されるようになった場合には、「MagicalFinder」をファイアウォールソフトの除外設定を行うと、ファイアウォールソフトを動作させたまま、本製品を検索することが可能となります。</p> <p>（詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください）。</p> <p>&lt;参考：Windows Vista®の Windows ファイアウォール機能の除外設定&gt;</p> <p>①あらかじめ「MagicalFinder」をパソコンにインストールします。</p> <p>解凍したファイルの[INSTALL]フォルダ内[SETUP.EXE]を起動し、画面の指示にしたがいインストールを行ってください。</p> <p>② [スタート] - [コントロールパネル] - [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可]を開きます。</p> <p>※ユーザアカウント制御の確認画面が表示された場合は「続行」ボタンをクリックします。</p> <p>③ [例外] タブをクリックし、 [プログラムの追加] ボタンをクリックします。</p> <p>④一覧から「MagicalFinder」を選択し、 [OK] ボタンをクリックします。</p> <p>⑤「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、 [OK] ボタンをクリックします。</p> <p>以上で Windows Vista®のファイアウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。</p>

<p>対処</p>	<p>&lt;参考：Windows XP ServicePack2 の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定&gt;                  ①あらかじめ「MagicalFinder」をパソコンにインストールします。                  解凍したファイルの[INSTALL]フォルダ内[SETUP.EXE]を起動し、画面の指示にしたがいインストールを行ってください。                  ② [スタート] - [コントロールパネル] - [セキュリティセンター] を開きます。                  ③一番下の「Windows ファイヤーウォール」をクリックします。                  ④ [例外] タブをクリックし、 [プログラムの追加] ボタンをクリックします。                  ⑤一覧から「MagicalFinder」を選択し、 [OK] ボタンをクリックします。                  ⑥「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、 [OK] ボタンをクリックします。                  以上で WindowsXPSP2 のファイヤーウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。 [スタート]→[すべてのプログラム]→[I-O DATA]-[Magical Finder]をクリックすると、Magical Finder が起動し、本製品が検索されます。設定変更や設定画面を開く際にご利用ください。</p>
<p>原因</p>	<p>本製品が再起動中である。</p>
<p>対処</p>	<p>本製品が起動するまで（ [STATUS] ランプが緑色に点灯※するまで）お待ちください。                  ※DHCP サーバーの無いネットワークにはじめて接続した場合は、赤く点滅します。</p>

# 本製品へアクセス時のトラブル

[コンピュータの検索]で [hvl4] が見つからない

原因	共有サービスが有効になっていない。
対処	設定画面の [ネットワーク] → [サービス設定] で、「Microsoft ネットワークファイル共有」にチェックが入っていることを確認してください。 また、[共有管理] → [共有フォルダ一覧] より、アクセスしたい共有フォルダの「Microsoft ネットワークファイル共有」が有効になっていることもご確認ください。
原因	ネットワークの参照に時間がかかっている。
対処	[表示] メニュー → [最新の情報に更新] をクリックしてください。
原因	本製品がネットワークに正しく接続されていない。
対処	本製品の電源が入っているか（ [STATUS] ランプが点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか（背面の [ACT/LINK] ランプが点灯または点滅しているか）確認してください。（本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。）
原因	ファイアウォール系のソフトウェアを使用している。
対処	ファイアウォール系のソフトウェアで、本製品のコンピュータ名（初期値は「HVL4-xxxxxx」）や本製品の IP アドレス（初期値は「192.168.0.200」）を使用できるように設定してください。詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
原因	本製品の IP アドレスを変更後、検索しようとしている。
対処	パソコンを一度再起動する必要があります。 Windows が以前の情報を保持しているため、再起動で保持している情報を一度クリアする必要がありますからです。
原因	Windows のネットワーク機能が不安定なため、ネットワーク参照が正しく行えない。
対処	・ 設定画面が開けることをご確認ください。 ・ LAN アダプターが正常に認識されていることをご確認ください。（詳しくは、各 LAN アダプターの取扱説明書をご覧ください。）
原因	パソコン側の名前解決がうまくいっておらず、 [HVL4-xxxxxx]（コンピュータ名）の文字での検索では検索されない。
対処	本製品に設定されている IP アドレス（出荷時は、192.168.0.200）を入力して検索してみてください。
原因	お使いのネットワークの IP アドレスのセグメントが本製品の IP アドレスと異なっている。
対処	▼ブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーをお使いの場合 →いったん本製品の電源を入れ直していただき、再度検索できるかどうかお試しください。 ▼DHCP サーバーがない場合 →本製品の IP アドレスをお使いのネットワークに合った IP アドレスに変更してください。

原因	本製品とお使いのパソコンのワークグループ名が異なる。
対処	本製品とパソコンのワークグループ名を一致するように設定してください。

接続

設定

困ったときには

仕様

# 設定画面のトラブル

## 設定画面で文字が入力できない

原因	入力個所をクリックしていない。
対処	一度入力したい個所をクリックしてから入力してください。
原因	入力できない文字を入力しようとしている。
対処	入力できる文字かを確認してから入力してください。 本製品の設定画面上で入力できる文字には制限があります。【文字制限】（66 ページ）をご覧ください。

## 設定画面上から入力できる文字制限について

対処	【文字制限】（66 ページ）をご覧ください。
----	------------------------

## 「現在システムは処理中です。しばらく待ってから操作してください。」と表示された

原因	設定処理実行中に他の設定をしようとした。
対処	他の設定処理が実行中でないかご確認ください。 設定処理の途中で別の設定を行おうとすると上記メッセージが表示されることがあります。
原因	ファームウェアが正常に動作していない。
対処	①いったん、本製品の電源を入れ直して、同様の操作をしてみてください。 ②本製品の初期化を行ってください。【システム初期化】（25 ページ）

## 設定画面の動作が遅い

原因	ファイル転送中、アクティブリペア中など、本製品の処理動作中である。
対処	以下の動作中は、本製品の操作・動作が遅くなる場合があります。 処理が終了するまでお待ちください。 ・アクティブリペア中    ・RAID リビルド中    ・ファイル再生中/ムーブ中 ・DLNA データベース更新中    ・スピニング中

## ファームウェアの更新が終わらない

対処	本製品の電源ボタンを押して、電源をいったん切り、再起動してください。 その後、再度ファームウェアの更新を行ってください。
----	---

設定画面上の表示が乱れている、画像やボタンが重複して表示される

接続

設定

困ったときには

仕様

原因	製品ファームウェアを Ver. 1.01 以前からバージョンアップした際、設定画面が一部変更されており、Ver. 1.01 以前で表示していた設定画面がお使いのブラウザの一時ファイルとして残されている為、Ver. 1.02 以降の設定画面が正常に更新できていない。
対処	お使いの Web ブラウザの表示を更新してください。
対処	一度お使いの Web ブラウザの一時ファイルを削除してから表示しなおしてください。

# 本製品の IP アドレスについて

本製品に設定した IP アドレスを忘れた  
本製品に設定されている IP アドレスを調べたい

## 注意

- DHCP サーバーのあるネットワークで確認する場合は、毎回以下の手順を行うことをおすすめします。
- DHCP サーバーは常に固定の IP アドレスを割り当てるわけではありません。
- 下記手順で一旦確認できた IP アドレスも、本製品の電源を入れなおした後や DHCP サーバーを再起動した場合などには、本製品やパソコンに割り当てられた IP アドレスが変更されている場合もあります。

対処	DHCP サーバーのあるネットワークの場合、DHCP サーバー内の情報から確認します。 ご使用のプロードバンドルーターなどの DHCP サーバーが、本製品に割り当てた IP アドレスの情報を記録している場合があります。詳しくは、DHCP サーバーとなっている機器の取扱説明書などをご覧ください。
----	--

対処	本製品から LAN ケーブルを取り外した後、以下の方法で、本製品の IP アドレスを出荷時設定（192.168.0.200）に戻してください。 出荷時設定に戻した後、再度、最初から本製品の IP アドレスの設定をやり直してください。
----	---

## ●IP アドレスを出荷時設定に戻す

本製品背面の [RESET] ボタンで IP アドレスのみを出荷時設定に戻す（初期化する）ことができます。万一、本製品に設定した IP アドレスを忘れた場合に行います。

## 注意

- 初期化処理中は、本製品の電源を切らないでください。
- ハードディスク内のデータは残ります。（消去されません。）
- ネットワークに接続したまま行うことができます。
- ACCESS ランプ点灯・点滅中には、初期化しないでください。

- 1 本製品の電源が入っていること（[STATUS] ランプが点灯していること）を確認します。電源が入っていない場合は、電源を入れます。
- 2 背面の RESET ボタンを先の細いもので約 2 秒以上、STATUS ランプが点滅し、「ピツ」と音が鳴るまで押します。
- 3 [STATUS] ランプが緑色点灯（DHCP サーバーがある場合）、または、赤色点滅（DHCP サーバーがない場合）すれば、初期化完了です。



## ランプやブザーについて

起動時に [ACCESS] ランプがすべて赤く点灯し、「ピーポーピーポー」と鳴り続けている

原因	本製品が起動停止の状態です。
対処	前面の [FUNC] ボタンを押していったんブザーを止めた後、起動停止画面を開いて画面の表示に応じた対処を行ってください。 【起動停止状態を確認する】 (43 ページ) をご覧ください。

使用中、または、起動時に [ACCESS] ランプがすべて赤く点灯し、「ピーポーピーポー」と鳴り続けている

原因	RAID 崩壊の状態です。
対処	前面の [FUNC] ボタンを押していったんブザーを止めた後、RAID の再構成を行ってください。 【起動停止状態を確認する】 (43 ページ) をご覧ください。

ACT/LINK ランプが点灯または点滅していない

対処	【ACT/LINK ランプが点灯あるいは点滅していない】 (50 ページ) をご覧ください。
----	--

ランプの動作について知りたい

対処	【ランプの表示】 (62 ページ) をご覧ください。
----	----------------------------

接続

設定

困ったときには

仕様

STATUS ランプが赤く点滅している

原因	正しく接続されていない。
対処	いったん本製品の電源ボタンを押して電源を切り、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再度電源を入れてください。
原因	DHCP サーバーから本製品の IP アドレスが取得できていない。 ※接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、STATUS ランプが赤く点滅します。
対処	接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。 ※DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に、固定の IP アドレス：192.168.0.200 に設定されます。
原因	DHCP サーバーがない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。
対処	本製品の IP アドレスを固定の IP アドレスに設定してください。 【かんたん設定】（17 ページ）
原因	本製品が取り扱えない USB 機器が USB ポートに接続された。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB ポートに接続された場合、接続に失敗したことを STATUS ランプの赤点滅で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取外してください。しばらくして緑点灯に変わります。
原因	<レグザ>の LAN 端子に直接本製品を接続しているため、DHCP サーバーがない。
対処	<レグザ>と本製品を直接接続した場合は、DHCP サーバーがなくてもそのままご使用頂けますので、特に対処の必要はありません。 STATUS ランプの点滅が気になる場合は、電源ボタンを軽く押すことで緑点灯とすることができます。

# 内蔵や USB 接続ハードディスクについて

## USB 接続ハードディスクのパソコンでのフォーマット方法について

対処	FAT 形式や NTFS 形式のハードディスクはそのまま Windows パソコンでご利用になれます。 再度フォーマットする場合などのフォーマット方法の詳細については、お使いの USB 接続ハードディスクの取扱説明書を参照してください。 ※フォーマットするとデータはすべて消去されます。
----	---

## デフラグ機能はありますか？

対処	本製品にデフラグ機能はありませんが、本製品に採用しているファイルシステムの仕様により、フラグメンテーション（断片化）が起こりにくい仕様となっています。
----	---

接続

設定

困ったときには

仕様

## タイムサーバー機能使用時のトラブル

### タイムサーバーとの同期が行われない

原因	[IP アドレス設定] で正しく設定されていない。
対処	設定画面の[かんたん設定] → [IP アドレス設定] で、「ゲートウェイ」と「DNS サーバ」を設定してください。 入力するゲートウェイと DNS サーバの IP アドレスは、<レグザ>で設定されているものと同じ値に設定し、タイムサーバーとの同期ができるかどうかご確認ください。

# 仕様

LAN	転送規格	IEEE802.3ab、IEEE802.3u、IEEE 802.3 (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T)
	最大転送速度	1000/100/10Mbps
	コネクタ	RJ45×1
	アクセス方法	CSMA/CD
	MDI/MDI-X	自動切換
	適合ケーブル	UTP カテゴリ6以上、100m以下
USB ホスト	転送規格	USB 2.0(1.1 含む)
	最大転送速度	480Mbps
	コネクタ	USB A コネクタ×2
電力	電源	AC 100V、50/60Hz
	消費電力	DC12V 6A
動作環境	使用温湿度	5~35℃、10~85%(結露無きこと)
対応規格	EMC	VCCI ClassA
	環境	RoHS 指令
物理仕様	外形寸法	121.0(W)×126.5(D)×195.0(H)mm (突起部除く)
	質量	約 3.8kg

接続

設定

困ったときには

仕様

# ランプの表示

[STATUS] ランプ	緑点灯	システムが使用可能な状態を示します。
	緑点滅	システムが設定処理を行っている状態を示します。 この状態では設定画面を操作することはできません。
	赤点滅	直近の処理がエラー終了したことを示します。
	消灯	システムの電源が入っていないことを示します。
[ACCESS] ランプ (1~4)	緑点灯	番号に対応する内蔵ディスクが正常動作であることを示します。
	緑点滅	番号に対応する内蔵ディスクに対する処理をおこなっていることを示します。
	赤点灯	番号に対応する内蔵ディスクに問題が発生していることを示します。
	赤点滅	番号に対応する内蔵ディスクに問題が発生し、使用しない状態になっています。 ディスクを接続しているにもかかわらずシステム起動後に赤点滅する場合は、ディスクに障害が発生していると考えられますので、ディスクの交換を行ってください。
	消灯	番号に対応する内蔵ディスクが接続されていない、または障害のため使用しない状態になっています。 ディスクを接続しているにもかかわらずシステム起動後に消灯する場合は、ディスクに障害が発生していると考えられますので、ディスクの交換を行ってください。

状態・操作	ブザー	STATUS	ACCESS (1,2,3,4)	状態
電源コンセント接続時	なし	消灯	消灯	本製品の電源が入っていない状態です。
電源投入後	ピポ	緑点滅	緑点灯*	システム起動中
	「ピーポーピーポー…」 (繰り返し)	赤点滅	赤点灯*	システム起動停止状態です。 RAID が崩壊している可能性があります。 【起動停止状態を確認する】(43 ページ) をご確認ください。
	「ピピピピ…」 (繰り返し)	赤点滅	緑点灯*	システム起動不能状態です。 内蔵ディスクのシステムが読み取れない場合に発生します。内蔵ディスクが接続されていることを確認してください。

状態・操作	ブザー	STATUS	ACCESS (1,2,3,4)	状態
システム起動直後	ピー	緑点灯	緑点灯*	正常起動完了
	ピーピーピー	赤点滅	緑点灯*	IP アドレス取得エラーが発生しています。 【本製品の電源を入れると、STATUS ランプが赤点滅し、ブザーがピーピーピーと3回鳴った】(42 ページ) をご確認ください。
	ドレミドレミドレミ…(繰り返し)	赤点滅	緑点灯*	UPS 警告機能が有効で UPS が未接続です。 UPS の電源、及び監視用の USB ケーブルの接続を確認してください。
システム使用中に突然	ピッ、ピッ、ピッ…(繰り返し)	赤点滅	緑点灯*と赤点滅	赤点滅した番号のディスクに問題が発生し、RAID はデグレード状態になりました。 【ハードディスクを交換する】(38 ページ) にしたがって問題のある内蔵 HDD を交換してください。
	ピーポーピーポー(繰り返し)	赤点滅	赤点灯	RAID は崩壊状態になりました。RAID の再構成が必要な状態です。 【起動停止状態を確認する】(43 ページ) をご確認ください。
	ドミソド	緑点灯	緑点灯*	リビルドが完了しました。
フォルダ公開設定	ピーピー	緑点灯	緑点灯*	フォルダ公開の有効/無効の設定が完了しました。
システムシャットダウン時	なし	緑点滅	緑点灯*	システムシャットダウン処理中です。
設定操作を実行中	なし	緑点滅	緑点灯*	本製品の設定画面による設定操作を実行中です。 STATUS ランプが点滅中は WEB 設定画面による操作はできません。
内蔵ボリュームに対する操作(フォーマット、チェックディスク)を実行中	なし	緑点滅	緑点灯*	内蔵ボリュームに対する操作(フォーマット、チェックディスク)を実行中はコンテンツファイルにアクセスできません。

状態・操作	ブザー	STATUS	ACCESS (1,2,3,4)	状態
USB デバイス接続した	なし	緑点滅	緑点灯*	USB デバイスの接続処理中です。
USB デバイス接続処理完了	ピツ	緑点灯	緑点灯*	USB デバイスの接続処理成功。
	ピーピーピー	赤点滅	緑点灯*	USB デバイスの接続処理失敗。 【本製品の電源を入れると、STATUS ランプが赤点滅し、ブザーがピーピーピーと3回鳴った】 (42 ページ) をご確認ください。
FUNC ボタンを押した	ピツ	緑点滅	緑点灯*	取り外し処理を行います。
FUNC ボタン処理完了	ピー	緑点灯	緑点灯*	前面のUSBポート1に接続のハードディスクが取り外せます。
	ピーピーピー	赤点滅	緑点灯*	FUNC ボタンの機能が失敗した。 【本製品の電源を入れると、STATUS ランプが赤点滅し、ブザーがピーピーピーと3回鳴った】 (42 ページ) をご確認ください。
ファームウェア更新のお知らせ	なし	緑→赤→赤→赤→赤の点滅	緑点灯*	ファームウェア更新を検出した。 設定画面の【[ファームウェア更新]】(26 ページ) を開き、ファームウェア更新を行ってください。

※ 接続されていないディスクは消灯しています。ディスクアクセス発生時は高速に緑点滅します。



# 出荷時設定

接続

設定

困ったときには

仕様

項目	初期値		
システムバージョン	1.00 (出荷時期による)		
MAC アドレス	00:A0:B0:xx:xx:xx (製品ごとに異なる)		
◆かんたん設定			
本製品の名称	HVL4-xxxxxx(製品ごとに異なる)		
IP アドレス設定	IP アドレスを自動取得する (DHCP)		
	自動取得失敗時	IP アドレス	192.168.0.200 AutolP 自動割当 169.254.xxx.xxx
		サブネット	255.255.255.0 AutolP アドレスは 255.255.0.0
		ゲートウェイ	なし
		DNS サーバ	なし
時刻設定	手動設定		
◆詳細設定			
セキュリティ設定	MAC アドレス別アクセス設定		なし
	上記リスト以外の機器からのアクセス設定		接続を許可
システム設定	UPS 警告		無効
	UPS シャット ダウン条件	停電後の経過時間	10 分後
		バッテリー充電容量	10% 以下
	ランプの明るさ		明るい
フォルダ公開	フォルダ公開の設定		有効
ディスク	アクティブリ ペアの実行/停 止	現在の状態	アクティブリペアは実行していません
		最終実行時刻	実行していません
	アクティブリペアのスケジュール実行		使用する
	アクティブリ ペアのスケジ ュール実行	曜日	日
時刻		'2 時 0 分	

# 文字制限

項目名	文字数	備考
本製品の名前	14 文字以下	・ 設定画面上で使用できる文字 半角英数文字(0~9 A~Z a~z) アンダーバー _ ハイフン - (数字やハイフン - で始まる文字列は不可)
ファイルやフォルダ名	半角 255 文字 (全角 85 文字) まで	・ 使用する文字種によっては左記の数値よりも少なくなる場合があります。 ・ Windows Vista®では従来の Windows と比較し、扱える文字数が増えています。よって Windows Vista®でのみ使用可能な文字を共有フォルダに保存するファイル名やフォルダ名に使用した場合、従来の Windows で参照すると文字が正しく表示されない場合があります。 Windows Vista®と従来の Windows との間で文字表示について問題が発生しないようにするには Microsoft 社の公開情報 ( <a href="http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/jp_font/default.mspx">http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/jp_font/default.mspx</a> )にある、「Microsoft Windows Vista における JIS X 0213:2004(JIS2004)対応について」の「フォントパッケージと JIS2004 への移行シナリオ」に沿った対応をして頂く必要があります。

# 配信可能なフォーマット

以下のフォーマットを配信できます。

ただし、再生するにはプレーヤー側も該当のフォーマットの再生に対応している必要があります。

▼動画							
3gp	avi	divx	mp4	m4v	mov	mpg	m2p
mpe	mpeg	vob	tts	asf	dvr-ms	wmv	mts
m2ts							
▼画像							
bmp	gif	jpg	jpeg	png	tiff	tif	
▼音楽							
ogg	lpcm	pcm	m4a	m4b	mp3	wav	wma

# お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① 弊社ホームページをご確認ください。

サポート Web ページ内の「製品 Q&A、News その他」をご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

<http://www.iodata.jp/support/>

② それでも解決できない場合は以下までお問い合わせください。

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地  
アイ・オー・データ第2ビル  
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター  
電話： 本社…**076-260-3644** 東京…**03-3254-1144**  
※受付時間 9:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）  
FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**  
インターネット： <http://www.iodata.jp/support/>

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

接続

設定

困ったときには

仕様

# 修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

## ●内部のデータについて

- ・検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。(厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。)  
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。弊社では、データの修復は行っておりません。

## ●お客様が貼られたシールなどについて

- 修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。  
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

## ●修理金額について

- ・保証期間中は、無料にて修理いたします。  
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」の「保証適応外」の内容に該当する場合は、有料となります。  
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
- ・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。  
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
- ・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。  
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。  
(ご依頼時に FAX 番号をお知らせいただければ、修理金額を FAX にて連絡させていただきます。)

## ●修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

### ①メモに控え、お手元に置いてください

- お送りいただく製品の製品名、シリアル番号(S/N)、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

### ②これらを用意してください

- ・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書 (コピー不可)  
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
- ・下の内容を書いたもの  
返送先 [住所/氏名/(あれば)FAX 番号]、日中にご連絡できるお電話番号、ご使用環境 (機器構成、OS など)、故障状況 (どうなったか)

### ③修理品を梱包してください

- ・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
- ・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。  
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

### ④修理をご依頼ください

- ・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。  
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
- ・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先 〒920-8513

石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地 アイ・オー・データ第 2 ビル  
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

# MEMO

接続

設定

困ったときには

仕様

MEMO

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。  
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

HVL4-G シリーズ 設定ガイド&困ったときには  
発行 株式会社アイ・オー・データ機器  
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2008-2009 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.

本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

デジタルライフの夢を拓ける

株式会社 **アイ・オー・データ機器**

本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地

ホームページ：<http://www.iodata.jp/support/>

Copyright (C) 2008 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.

地球環境を守るため、再生紙を使用しています。



大豆インキを使用しています